CAM SHAFT 取扱説明書

商品番号　　：０１－０８－００６１
適応車種　　：Ｄｉｏ１１０
フレーム番号：ＪＦ３１－１０００００１～

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
ご使用につきましては、説明書をよくお読みになって、指示を必ず守りご理解した上でご使用下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

特　徴

ノーマルエンジンに取り付けるだけで中、高速域の出力がアップします。
また、弊社製マフラーを取り付ける事により更なる出力アップが可能です。

！空燃比についてのご注意！

弊社製ボンバーマフラーと同時に使用されますと空燃比が適正値とならず、エンジン破損の可能性があります。必ず弊社製ＦＩ.ＣＯＮ２を同時に装着して下さい。

⚠注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

・作業を行う際は、その作業に適した工具を使用して行って下さい。
（部品の破損、ケガの原因となります。）
・点検、整備は、定期的に行って下さい。
（点検、整備を怠るとエンジン破損の原因につながります。）
・点検、整備を行った際、損傷部品があれば、必ず損傷部品の交換をして下さい。
（損傷部品の使用を続けると、エンジン破損の原因につながります。）

⚠警告　この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
（そのまま、走行すると事故につながる恐れがあります。）
・エンジンを運転する場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では行わないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・作業を行う際は、車体を安定させ、安全に作業を行って下さい。
（不安定な状態での作業は、車体等が倒れてケガをする恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～商　品　内　容～

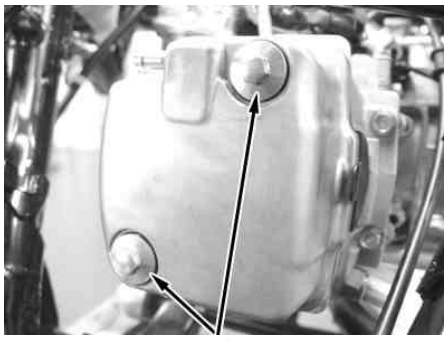
品　　名	個数
カムシャフトＣＯＭＰ．	１

Jan./19/ 13

～取　り　付　け　要　領～

・ホンダ純正サービスマニュアルを参考にしてフューエルタンクカバー、ラゲッジボックス、センターボディーカバー、グラブレール、サイドカバー、ボディーカバーを取り外す。
・ブリーザーホースをシリンダーヘッドカバーから取り外す。

・カバーボルト／マウントラバー２個を取り外し、シリンダーヘッドカバーを取り外す。

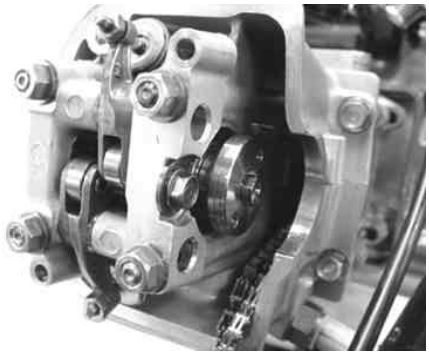


カバーボルト／マウントラバー

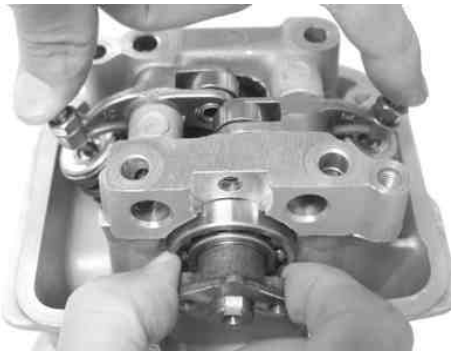
・クーリングファンを時計方向に回し、カムスプロケットのケガキ線がシリンダーヘッドの上面に合い、かつ“○"マークが上（車両進行方向）にあるようにする。
・テンショナーリフターのスクリューを取り外す。リフターを時計方向にいっぱいまで回し、ロックさせる。ボルト２本を取り外し、テンショナーリフターをシリンダーから取り外す。

・クーリングファンを保持し、カムスプロケットのボルト２本を取り外す。カムスプロケットをカム、カムチェーンから取り外す。

・ロッカーアームのアジャストナットを緩め、アジャストスクリューを緩める。
・ボルトワッシャを取り外す。



・ＩＮ、ＥＸのロッカーアームをバルブ側に押し付けながら、シリンダーヘッドからカムシャフトを取り外す。
※外し難い場合はロッカーアームのアジャストスクリューを更に緩め、取り外す。

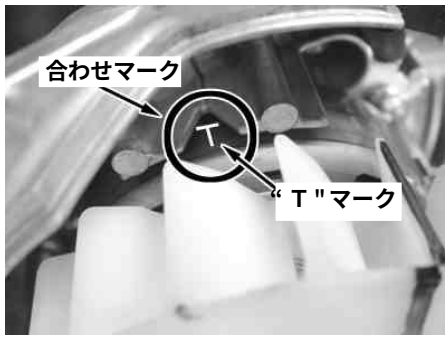


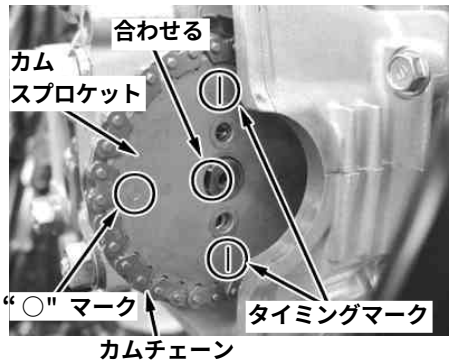
・キットのカムシャフトのカム摺動部、ベアリング、デコンプカム部にエンジンオイルを塗布する。

・カム山を燃焼室側に向け、シリンダーヘッドに取り付ける。シリンダーヘッドにボルトワッシャを取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）

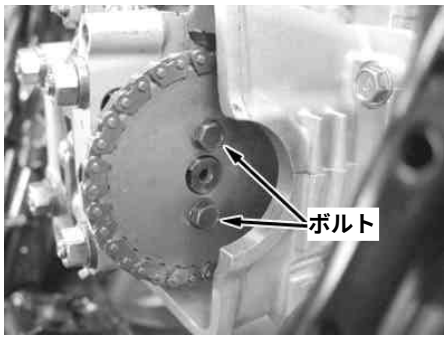
・フライホイールの“Ｔ"マークがクランクケースの合わせマークに合っているか確認し、“○" マークを前方に向け、タイミングマークがヘッドカバー取り付け面と合うようにカムスプロケットをカムチェーンに付け、カムシャフトに取り付ける。





・カムスプロケットのボルト２本を取り付け、規定トルクにて締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：８Ｎ・ｍ（０.８ｋｇｆ・ｍ）



・クーリングファンを時計方向に回し、フライホイールの“Ｔ"マークがクランクケースの合わせマークに合わせた時、カムスプロケットのタイミングマークがヘッドカバー取り付け面と合っている事を確認する。
・カムチェーンテンショナーのプッシュロッドがロックしているか確認する。シリンダーにガスケット、ハーネスクランプブラケット（弊社製ボアアップシリンダー使用の場合）、ガスケット（弊社製ボアアップシリンダー使用の場合）、カムチェーンテンショナの順に取り付け、２本のボルトを取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）

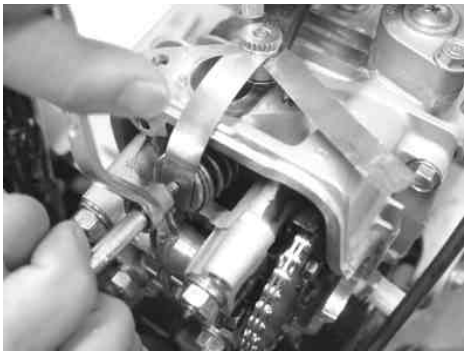
・カムチェーンテンショナーのストッパを反時計方向に少し回し、プッシュロッドのロックを解除する。カムチェーンテンショナーの溝にＯリングが付いている事を確認し、スクリューをカムチェーンテンショナーに取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：４Ｎ・ｍ（０.４ｋｇｆ・ｍ）

●バルブクリアランスの調整

・フライホイールの“Ｔ”マークがクランクケースの合わせマークに合い、タイミングマークがヘッドカバー取り付け面と合っている事を確認する。
・アジャストスクリューとバルブステムの間に０.１６mmのシックネスゲージを挿し込み、引き抜く時に少し抵抗があるぐらいに合わせ、アジャストスクリューを固定してナットを締め付ける。
バルブクリアランス
：ＩＮ、ＥＸ共に０.１６mm（冷間時）

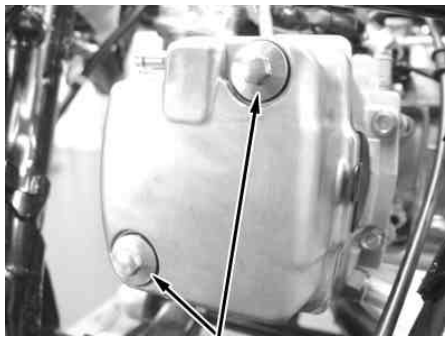
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）



・フライホイールを時計方向に２回転まわし“Ｔ"マークをクランクケースの合わせマークに合わせ、バルブ隙間が変化していないか確認する。隙間が変化している場合は再度調整する。この作業を合うまで繰り返す。
・シリンダーヘッドカバーにシールラバーを取り付け、シールラバーの画像に記す隅部分にシール剤を塗布する。
シール剤：スリーボンド５２１１Ｃ
又は相当品

・シリンダーヘッドカバー／シールラバーをカバーボルト／マウントラバー２個にて取り付け、規定トルクにて締め付ける。
※マウントラバーは“ＵＰ”マークを上に向けて取り付ける事。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）



カバーボルト／マウントラバー

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９ 大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
ＴＥＬ ０７２１－２５－１３５７
ＦＡＸ ０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル ０７２１－２５－８８５７
ＵＲＬ http://www.takegawa.co.jp